

2024 年度商品テスト（苦情処理テスト）の概要

2025 年 3 月 31 日現在

区 分	食 料 品	住 居 品		光 熱 水 品	被 服 品		保 健 ・ 衛 生 品	教 養 ・ 娯 楽 品	車 両 ・ 乗 り 物	土 地 ・ 建 物 ・ 設 備	そ の 他	計
		クリーニング	住居品		クリーニング	被服品						
総 件 数	0	1	1	0	3	0	1	1	0	1	1	9
(うち外部依頼件数)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(2)

(相談内容及びテスト結果の概要)

受付 番号	受 付 年月日	相談内容	テスト項目	テ ス ト 結 果
1	2024. 4.15 (危険)	口腔洗浄器 (発 煙 の 原 因)	・ 外観検査（目視） ・ 分解検査（目視、 X 線透視）	相談品の口腔洗浄器は、AD/AC コンバーターに内部から焼損物が噴出した痕跡が認められた。AD/AC コンバーター内部の基盤は、部品面に焼損は認められなかったが、はんだ付け面に焼損が認められた。口腔洗浄器が発煙した原因は、AD/AC コンバーター内部の基板が異常発熱して発煙したものと推定される。
	安城市消費生活センター		(独)製品評価技術基盤機構中部支所にて原因究明（保健衛生品）	
2	2024. 4.26	ジャケット (色移りの原因)	・ 外観検査 ・ 繊維鑑別試験 ・ 染色堅ろう度試験	相談品のジャケットは黒白のバイカラー（異色の組合せ）のデザインで、ドライクリーニング（石油系溶剤）後、袖口や裾の白地に色移りが認められた。メーカーの品質検査結果では、水洗いでは色移りがあったが、ドライクリーニングではなかった。また、ジャケットの白地には色移りだけでなく、全体に再汚染（逆汚染）が認められることから、溶剤の管理が不十分であり、ドライソープの濃度（水分量）が高まっていたことが原因と推定される。
	県消費生活総合センター		(被服品・クリーニング)	
3	2024.10.20	ソファーカーパー (生地が薄くなった)	・ 外観検査 ・ 顕微鏡観察 ・ 繊維鑑別試験 ・ 生地厚さ試験 ・ 面ファスナー貼り付け試験	相談品のソファーカーパーの生地は太い糸を使用した織物で、撚りが少ない甘撚りの膨らみの大きな糸を使用していた。そのため、面ファスナーや他の物に擦られた際に繊維が引っ掛かり易く、毛羽立ちや傷の発生し易い製品であった。相談品は毛羽立ちと傷が見られ、毛羽立ち部の生地厚さは正常部と差はほとんど見られなかったが、傷部の生地厚さは薄いことが確認された。傷部の2か所はクッション角付近部で擦れやすい部分であり、使用中に生じた傷がクリーニングの揉み作用により明瞭化したものと推定されるが、クリーニング店も面ファスナーを覆う等の必要性もあったと考えられる。
	県消費生活総合センター		(住居品・クリーニング)	

4	2024.10.15	着物帯 (変色の原因)	・外観検査 ・繊維鑑別 ・元素分析 ・拡大観察	相談品の帯を拡大観察すると、柄部に使用されているスリット糸（ラメ糸）の多くのアルミニウムが脱落しているのが認められた。このため、光沢が少なくなり、また、脱落部は、透明なポリエステルフィルだけが残ったため、地の絹糸の色が透けて見え、帯柄の色相が変化して見えるようになったと考えられる。帯は30年程前に仕立てられたもので、アルミニウムの化学変化やコーティング樹脂の経年劣化により、クリーニング時の揉み作用等でアルミニウムが脱落したものと推定される。
	海部地域消費生活センター		(被服品・クリーニング)	
5	2025. 1. 5	置物 (塗料の元素分析)	・外観検査 ・顕微鏡観察 ・蛍光X線元素分析	粉末は金色の薄膜状で、元素分析の結果、アルミは検出されたが、その他の重金属類は検出されなかった。金色は着色されたアルミによるもので、相談品の置物の表面から剥離したものと推定された。
	県消費生活総合センター		(教養娯楽品)	
6	2024.11.27	婦人用セーター (色が薄くなった原因)	・外観検査 ・測色試験 ・染色堅ろう度、クリーニング方法確認	相談品の婦人用セーターはアンサンブルのカーディガンに比べて色落ちしていた。また、セーター胸部に直径1cm程度の色が薄く見える箇所が観察され、測色結果からこの部分が最も色落ちしていることが分かった。染色堅ろう度のデータから判断すると、通常のドライクリーニングで色落ちすることは考えにくい。この直径1cm程度の色が薄く見える箇所に色落ちの原因となる物質が付着し、クリーニングの作用でそれが拡散し、全体の色落ちとなった可能性が推測される。クリーニング店はシミ抜き剤の使用前に目立たない部分でシミ抜き剤により色落ちするか確認する必要があったと考えられる。
	高浜市消費生活相談室		(被服品・クリーニング)	
7	2025. 1.16	ポリ袋 (白粉の分析)	・外観検査 ・顕微鏡観察 ・赤外分光分析	相談品のポリ袋の白色の粉末は、上部の袋の吊り下げ穴を補強する芯材のポリプロピレンが、日光（紫外線）などにより酸化劣化して粉末状になったものと推定される。
	県消費生活総合センター		(商品一般)	
8	2025. 2.14	台所の水道管カプラ (水漏れ)	・外観検査 ・顕微鏡観察 ・素材鑑定試験 ・蛍光X線元素分析 ・薬品浸漬試験	相談品のカプラについて外観および顕微鏡観察、元素分析、薬品浸漬試験を実施したが、劣化原因を特定するには至らなかった。元素分析では、カプラの劣化部は正常部では検出されなかった塩素、亜鉛、硫黄が検出された。これらの元素を含む物質が劣化に関与している可能性が推定された。薬品浸漬試験では、塩素を含有する家庭用薬剤にカプラの小片を12日間浸漬したが、台所用漂白剤では変化は見られなかった。トイレ用洗浄剤では光沢と表面の微細な傷が無くなったが、相談品のような劣化状況にはならなかった。
	県消費生活総合センター		(土地・建物・設備)	

9	2025. 2.28 (危険)	石油ファン ヒーター (吹き出し口 から火を噴 く)	・外観検査 ・分解検査 ・燃焼試験	相談品の石油ファンヒーターは、気化器のバルブロッド先端にタールが堆積していることから、点火の際に気化した灯油がノズルから均一に噴霧されず、空気との混合ガスがバーナー一部で正常に燃焼しなかったため、未燃ガスが温風吹出口から炎となって噴き出したものと推定される。気化器のヒーター温度に異常は認められないことから、気化器のバルブロッド先端にタールが堆積する原因は、一般的に言われている灯油の品質に問題があったと思われる。
	西尾市消費生活センター		(独)製品評価技術基盤機構中部支所にて原因究明 (住居品)	